

令和5年度 北海道網走南ヶ丘高等学校 全日制課程 学校評価票

1 学校教育目標

- 1 国家及び社会の有為な形成者として義務と責任を重んじ、己を磨く態度をはぐくむとともに、自主自立の精神を養う。
- 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむとともに、奉仕と勤労を尊び行動・実践する力を養う。
- 3 探究心と向上心を培い、課題解決に必要な学力をはぐくむとともに、明澄で端正な生き方を希求する態度を養う。

2 スクール・ミッション

地域から期待されているオホーツク東部の中心校として、広域から入学する多様な生徒の豊かな心と健やかな体をはぐくみ、社会に貢献できる指導的役割を担う人間を育成します。

3 スクール・ポリシー

〈グラデュエーション・ポリシー：卒業の認定に関する方針〉

- ・「基本的生活習慣」の確立 = 明澄端正・奉仕勤労
- ・「自ら学ぶ態度」の確立 = 自主自立・明澄端正
- ・「家庭学習習慣」の確立 = 奉仕勤労・自主自立

〈カリキュラム・ポリシー：教育課程編成・実施に関する方針〉

生徒一人ひとりの進路希望の実現や学力を伸ばすため、卒業後の進路や適性を踏まえた教科・科目選択を行い、自分に合った時間割を生徒自ら作成できるよう教育課程を編成し、確かな学力の向上を目指した授業を実施する。

〈アドミッション・ポリシー：入学者の受け入れに関する方針〉

- ・大学進学等、将来の目標をしっかりと持ち、自ら学ぼうとする意欲の高い生徒
- ・生徒会活動や学校行事、部活動等において、リーダー性を発揮し、主体的に取り組む生徒

【評価】 そう思う 4 どちらかというと思う 3 どちらかと言えばそう思わない 2 思わない 1

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学校運営	1	学校教育目標は家庭や地域の願いに応えたものになっていると思う。	3.3	3.2	3.3	・昨年は約9割の項目で評価の上昇が見られ、今年はその反動で微減している項目もある。 【成果】 ・いじめに関しては、対策組織を機能させ、すぐに学校全体で対処し、改善することができた。 ・本校に入学して良かったと感じる生徒・保護者も多く、引き続きそのような学校運営を心がけたい。 【課題】 ・保護者と連絡が取りやすい環境の強化。 ・積極的な情報提供・教育活動の公開や学校評価の充実	・引き続きいじめに関しては情報を共有し、全職員で対応できるようにしていく。	3.8
		前年対比	-0.1	-0.1	-0.3			-0.2
	2	授業の配置などの教育課程は生徒の進路実現に応えたものになっていると思う。	3.2	3.2	3.2			3.4
		前年対比	-0.1	-	-0.1			-0.3
	3	本校は、いじめのない学校だと思う。	3.4	3.0	3.3			3.2
		前年対比	0.1	-0.1	0.1			-0.5
	4	学校は、教育活動などを積極的に情報発信していると思う。	3.0	3.0	3.4			3.4
		前年対比	-0.3	-0.1	-0.1			-0.6
	5	ホームルーム担任や部活動顧問、関係教職員は、保護者と連携が取りやすい環境にあると思う。	3.1	2.9	3.5			3.2
		前年対比	-0.1	-0.3	0.2			-0.5
6	教職員の言葉づかいや態度、電話の応対などは、適切に行われていると感じる。	3.2	3.4	3.5	3.4			
	前年対比	-0.2	-	0.3	-0.6			
7	あなたは、学校から配付されるプリントなどを、保護者に必ず見せている。(指導している。)	3.3	2.9	3.2	3.0			
	前年対比	-	-0.2	0.1	-0.3			
8	本校に入学して良かったと思う(指導をしている)。	3.3	3.5	3.4	4.0			
	前年対比	-0.2	-0.2	-	-			
学校関係者からの意見		・今以上に家庭・地域との連携を深めていただく施策を取り入れていただきたい。例えば、「気になる生徒に関する連絡・連携」や「発達段階における個々の生徒の心理上の把握・研修」等 ・特にいじめなど、全職員での対応をお願いします。						

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
学習指導	9	全ての授業において、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られていると思う。	3.2	2.9	2.9	【課題】 ・基礎・基本の理解と読解力の向上 ・自ら学ぶ態度の育成と家庭学習の時間の確保・増加	・公開授業授業週間の活用やICT等を取り入れた授業実践と改善を図る。 ・教務部、年次が連携し、家庭学習の習慣化に引き続き取り組む。	3.0
		前年対比	-	-0.2	-			-0.7
	10	予習・復習や学習課題など、家庭学習に取り組んでいる。	2.7	2.8	2.8			2.8
		前年対比	-	-0.3	0.3			-0.5
	11	今年度になって、学力は向上したと感じる。	2.9	2.6	2.8			2.8
		前年対比	-	-0.3	-			-0.2
12	全ての授業において、教員は適切な態度で授業を行っていると思う。	3.1	2.9	2.9	3.2			
	前年対比	-	-	-	-0.5			
13	本校の学習指導は、適切に行われていると感じる。	3.3	3.1	3.1	3.6			
	前年対比	0.1	-	0.1	-0.4			
学校関係者からの意見		・ICTも効果的に活用しつつ、学習する上で「読む・書く」ことも大切にしていきたい。 ・自主的に「学び合う」態度・姿勢をさらに深めていただきたい。 ・家庭学習は必要である。習慣となるように引き続きご指導をお願いしたい。						

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
生徒指導	14	教職員は、積極的に声をかけたり、悩みを聴いたりするなど、生徒理解に努めている。	3.1	3.0	3.2	【成果】 ・学校の生徒指導に対し、生徒、保護者とも概ね理解をいただいている。 ・スクールカウンセラー等の活用で人間関係の適切な構築が図られつつある。 【課題】 ・さらなる教育相談の充実	・生徒指導について、現状にそぐわない項目等があれば積極的に議論し、改善していく。 ・教育相談委員会が中心となり、生徒理解ツール「ハイパーQU」等を活用し、組織的な取組の充実を図る。	3.4
		前年対比	-0.1	-0.1	-			-0.3
	15	学校は、挨拶、服装、頭髮など、社会のルールやマナーなどについて適切に指導していると思う。	3.1	3.1	3.1			3.4
		前年対比	-0.1	-0.1	0.1			0.1
	16	あなたは、学校の生徒指導について理解している。	3.1	3.3	3.0			3.6
		前年対比	-0.3	-0.1	-0.1			-0.1
	17	学校は、教育相談や面談週間の実施などによって、生徒の悩みや不安の解消に努めていると思う。	3.3	3.1	3.3			3.2
前年対比		-	-0.1	-0.1	-0.5			
18	本校の生徒指導は、適切に行われていると感じる。	3.3	3.3	3.3	3.6			
	前年対比	-	-	-	-0.1			
学校関係者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、丁寧な対応を期待します。 ・スクールカウンセラーの活用は効果的に活用されておられる様子。一方で悩みを抱えている生徒は潜在的に多いので、きめ細やかな対策を検討していただきたい。 ・一人一人の教員がより深く個々の心情的把握をすると同時に、ワンポイントアドバイス等、個々の生徒へのアドバイスを適切にお願いしたい。 ・心のケアも含め、全職員での対応をお願いしたい。 						

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
進路指導	19	学校は、進路実現に向けて、生徒が主体的に取り組む態度を育成していると思う。	3.3	3.1	3.2	【成果】 ・生徒や保護者から本校の進路指導に対し概ね理解をいただいている。 【課題】 ・多様な進路希望の実現を図る取組の充実	・更なる進路指導の充実を図るため、校内研修等を活用し、職員内で最新の進路動向について常に共有する。 ・進路指導部と年次の連携によるインターンシップや進路ガイダンス等の工夫や改善にきより、キャリア教育の充実を図る。	3.2
		前年対比	-	-0.2	0.1			-0.5
	20	学校は、模試などへの参加を促し、その結果を分析して進路指導に生かしていると思う。	3.3	3.1	3.2			3.8
		前年対比	-0.1	-0.2	0.1			0.1
	21	学校は、生徒の進路希望に応じたきめ細やかな指導をしていると思う。	3.2	3.0	3.4			3.6
		前年対比	-0.1	-0.2	0.3			-0.1
	22	学校は、進路について必要な情報を提供していると思う。	3.2	3.0	3.5			3.8
前年対比		-0.2	-0.1	0.1	-0.2			
23	本校の進路指導は、適切に行われていると感じる。	3.4	3.0	3.5	3.8			
	前年対比	-0.1	-0.2	0.2	-0.2			
学校関係者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・推薦での進学が増えているように感じます。常に先を見通しながら進路対応に努めていただきたい。 ・早期より進路の関心を深めていけるように、日頃より生徒それぞれの内面を引き出していただきたい。 ・前年と比較等をして、3年間を見通した良い流れを引き続き検討していただきたい。 						

領域	No.	評価の観点	生徒	保護者	教職員	成果と課題	改善の方策	学校関係者評価
健康・安全指導	24	学校は、教科や学校行事、部活動などで、心身の健康と安全について適切に指導していると思う。	3.4	3.3	3.5	【成果】 ・怪我や体調不良時の対応や健康と安全管理指導に関して生徒・保護者から理解をいただいている。 【課題】 ・基本的な生活習慣の確立	・ホームルーム担任と生徒指導部、養護教諭が連携し、「長期休業中前の心得」や、「ほげんだより」、生徒会の各種委員会によるポスター作成・掲示等による啓蒙活動を組合せ、基本的な生活習慣の確立を図る。	3.8
		前年対比	-0.1	-0.1	0.1			-0.2
	25	学校は、生徒が体調不良や怪我などをした場合、適切に対応していると思う。	3.5	3.4	3.6			3.6
		前年対比	-0.1	-0.1	0.1			-0.4
	26	あなたは、睡眠、食事、時間を守るなど、規則正しい生活習慣が身に付いている。	3.2	2.9	2.8			3.2
		前年対比	-	-	0.1			-0.1
	27	学校は、スマートフォンやインターネット、SNS等の使い方について適切に指導していると思う。	3.2	3.1	3.1			3.4
前年対比		-0.1	-0.1	0.1	-0.3			
28	本校の健康・安全指導は、適切に行われていると感じる。	3.4	3.2	3.5	3.6			
	前年対比	-0.1	-	-	-0.4			
学校関係者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・広い目線で常に気を配り、慎重に対応していただきたい。 ・食生活習慣のきちんとした確立が全ての生徒に行き渡ることを期待している。 ・健康が一番なので、引き続きご指導をよろしくお願いしたい。 						